

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 坂下高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月17日(金) 13:30～16:00
- 3 開催場所 坂下高等学校リハビリ実習室
開催にあたり、委員による授業参観を実施
- 4 参加者

会 長	須栗 大	中京学院大学教授 連携推進部長
副 会 長	鎌田 則之	やさか観光協会会長
委 員	半沢 岳彦	坂下まちづくり協議会理事
	安江 裕之	坂下公民館長
	久野 智治	坂下中学校長
	丹羽 達也	坂下小学校長 (欠席)
	秋山 小枝	本校同窓会長
	長瀬 愛	中津川市社会福祉協議会地域福祉課
	伊藤あずさ	地域住民代表
	原 京子	本校保護者代表
オブザーバー		
	森 益基	岐阜県議会議員 (欠席)
	成瀬 博明	中津川商工会議所専務理事
	岩久 義和	中津川市教育長
	野村 充久	中津川市市民部次長
	廣瀬 竜也	坂下総合事務所長
学 校 側		
	杉山 醇	校長
	板津 裕也	教頭
	斎藤 良成	事務長
	熊谷 美奈	教務主任
	曾我 純一	生徒指導部長
	酒井 雅代	進路指導部長
	岡本 拓郎	地域探究科主任
	田上 紘子	福祉科主任

5 会議の概要（協議事項）

（１） 学校評価アンケート結果分析

【教務主任、生徒指導部長、進路指導部長、地域探究科主任、福祉科主任による説明】

意見１：アンケートは全体として良好である。人数は少ないが低い評価をした生徒や保護者の思いをしっかりと拾い上げていく必要がある。ＩＣＴの項目については、来年度１年生より、タブレット端末が保護者負担となるので、さらなるＩＣＴの活用が必要になる。

意見２：アンケートの「わからない」という項目は、自分自身が対象となっていない、困っていないので、「わからない」と回答しているのではないかと。

意見３：アンケートの結果は生徒の意見だけでなく、保護者の意見も大切な時代になっていると思う。

意見４：子どもが学校のことを話さないで、学校の様子が分からない。アンケートの「わからない」は、本当に分からないから、そのように回答しているのではないかと。

（２） 坂下高校地域留学について

→ 学校側の現段階の回答として、内容には共感できるが、行政と地域の方のハードルが高いのではないかと。学校としては、教員の負担がこれ以上増えることに危惧している。

→ 行政側の現段階の回答として、中津川市役所内の関係機関に、坂下高校地域留学に関する情報提供をした。

意見１：地域留学に関する費用が高いのではないかと。

（３） 学校運営全般に関する意見交換について

意見１：やさか地区（山口、坂下、川上地区）の子どもは少ない。人を呼び込むためには、やさか地区の特性を生かした魅力を伝えなければいけない。それに対する取組を学校でも進めてもらえるとありがたい。

意見２：公民館のイベントに生徒が協力し、参加者が増えた。これらのイベント内容を地域にもっとＰＲして理解してもらえるようにしたい。

意見３：少人数の授業だから、前に出て発表する機会が多いが、それを頑張っている姿が印象的であった。

意見４：地域の至る所で活躍している生徒の姿を見るので、うれしく思う。デュアルシステムは、社会に出たときに経験が生かされる取組だと思った。

意見５：保育の授業は人を惹き付ける仕掛けが見られ、堂々とした発表であった。福祉科の授業で先輩に授業内容を教えてもらっているという話を聞いて、良い伝統だと感じた。

意見6：坂下駅の装飾は駅が明るくなるので、地域住民としてはうれしい。それを生徒がボランティアとして取り組んでいるのがありがたい。

意見7：何とかして福祉科を盛り上げていく方法はないか。

- 福祉＝高齢者ケアと思われがちだが、福祉は地域の人々の暮らしを支える、心のケアをする仕事だと思うので、それを伝えていく必要がある。
- 知り合いから普通科高校から福祉関係に進学する子どもがいることを聞いた。坂下高校に入学したら、高校から福祉が学べ、資格も取得できることをもっとPRしていく必要がある。
- 福祉科に入学すると、介護以外の多様な進路のゴールがあることを伝えていく必要がある。
- 中津川市が実施している福祉科の支援金制度を、卒業後、介護職に就いてから、数年間支給していく仕組みに変更した方がよいと考える。

(4) オブザーバーから

意見1：坂下高校の活性化には、生徒の元気な姿を地域に見せていくことが大切であるが、それは現在、例えば中京学院大学で実施された「彩」の結果などからもできていると思う。従って次の一手が何なのかを考える必要がある。15歳の職業選択は難しい中、中学校の先生方は普通科出身の先生が多いため、福祉科についてあまり理解がされていない。是非、中学校の先生に福祉科の説明を積極的にしてほしい。

意見2：生徒への手厚い指導ができている。地元企業への就職が増えており、それは地域への定住につながるのありがたい。地域に坂下高校の魅力をどんどん発信してほしい。

意見3：坂下高校地域留学が導入されれば、坂下高校への入学者が増え、地元就職する人も増えるのではないかと。高校の再編の話が出ているのであれば、県の担当者も交えて議論したい。

6 会議のまとめ

- (1) 授業参観では、生徒自ら主体的に活動している姿勢や地域で活躍する姿が評価された。生徒・保護者によるアンケート評価は全体的に良好であったが、少数でも低い評価とした生徒や保護者の思いにも目を向け検討していく必要がある。
- (2) 近年、入学志願者の少ない福祉科について、その対策について、具体的な意見が多く出た。これらの意見を参考にして、福祉科の募集PR等について再度検討していく必要がある。